

飯南町と島根県の情報伝えます



今秋で開業5年を迎える

アンテナショップの役割は

広島県三次市の飯南町アンテナショップ「iまるシェ」は、10月で開店5年目を迎えます。飯南町や島根県の情報を伝えるアンテナショップとして、飯南町産物や県内の健康・美容商品が販売されています。店内の「一福そば広島三次店」は美味しい蕎麦目当てのお客様で昼食時は満席です。



施設内にある一福広島三次店



健康と神の国を掲げて

6月より運営スタイルを少し変えた店舗では、健康をキーワードとした商品が販売されており、町産野菜や県内の健康に資するものが揃えられています。宍道湖のしじみや有名茶舗のお茶をはじめ、加工玄米などの健康食も人気です。また、神の国「しまね」をモチーフとしたコーナーもあり、赤穴八幡宮監修で古事記に登場する神々を、特に神戸川水系に沿って紹介されており、赤穴八幡宮に伝わる「丹塗矢伝説」や、それぞれの神話に基づく神の名のいわれなどをポストカード(無料)にしています。

iまるシェは、町の指定管理により、商工会・J・A・森林組合・旬一福などの有限責任事業組合「飯南パートナーズ(LLP)」によって運営されており、月に一度は各担当企業等がPR活動を行っているとのこと。

アンテナショップの役割は

飯南町アンテナショップの役割は、飯南町の魅力と、島根県の情報を伝えることで町を知ってもらい、イベントなどへの交流人口の増加をはじめ、暮らしの拠点とする定住人口の増加を目的の一つとしており、単なる物販所ではないはず。

また、アンテナショップは、市場情報を探ることもでき、店員から受けとった情報をもとに生産物の方向転換などを図ることもできます。

節目を迎え あり方が問われる

昨年の6月定例会一般質問で、iまるシェに関連し「撤退も含めた抜本的な対策が急務」との指摘があり、町長は「もう少し整理し、努力を続けたい」と継続の意思を述べています。

指定管理施設のあり方が問われる中、iまるシェは5周年を迎えます。厳しい現状を踏まえ、今一度、目的を明らかにした運営が求められます。



ゆめマートの敷地内で営業するiまるシェ